

震災復興支援
『被災学校に清掃用具を！』
最終報告書

公益社団法人全国ビルメンテナンス協会
キャンペーン委員会

【実施趣旨】

いま被災地の多くの学校では、机やイス、文房具だけではなく、清掃用具を求めている学校も多数存在しています。これまで、当協会は「ビルメンこども絵画コンクール」をはじめ、「小学校清掃指導マニュアル」など、ビルメンテナンスに関わる教育機会、教育素材を提供して参りました。

清掃の仕事を生業のひとつとしているビルメンテナンス業界が、困窮している子どもたちの学びの場を救わなければならないときがあるとすれば、いまを置いて他にはないと考え、会員の皆さまのご協力の下、清掃用具をご提供いただき、寄せられた清掃用具を被災地にお届けすることを目的に実施いたしました。

【活動期間】

本支援は、3回に渡って活動して参りました。第1次支援を平成23年4月～7月の間、第2次支援を平成23年7月～10月の間、第3次支援を平成24年6月～8月の間まで、約1年半活動し、会員より預かりました清掃用具すべてを教育機関に配布しました。

【運用概要】

1. 提供をお願いした清掃用具

ホーキ、チリトリ、モップ、モップ絞り器、デッキブラシ、トイレブラシ、バケツ、ぞうきん（タオル）、清掃用洗剤、トイレ用洗剤、タワシ、ゴム手袋等

2. 提供清掃用具の送付（集積）先

集積・中継・送付をホンダロジコム(株)様（本多 清治；当協会副会長－キャンペーン委員会担当－）に無償でご担当いただき、会員から預かった物品を送り届けていただきました。

【広報】

インターネットや新聞・雑誌などを通して、被災地で今、最も必要としている要望事項を聴取するとともに、協力者を募りました。また、趣旨に賛同し、無償にて清掃用具を提供した企業・協会についても、各媒体で公表しました。特に文部科学省「子どもの学び支援ポータルサイト」さま、ユネスコスクールさまには大変協力いただきました。

【会員及び諸外国などからの支援内容】

1. 提供いただいた企業数

全国の会員・賛助会員含む149の団体より清掃用具の提供がありました。

2. 提供頂いた清掃用具を含む各種物品

清掃資機材として、40,182物品を提供いただきました。

3. 韓国建物衛生管理協會、中華民國物業管理經理人協會からの協力

韓国建物衛生管理協會から 30 万円、中華民國物業管理經理人協會から 230 万円の支援の募金が届きました。募金を日本に送金していただいた協会のお気持ち、善意をより有効、明確に被災地にお伝えする方法を検討した結果、同支援『被災学校に清掃用具を！』に使用させていただくのが適切ではないかとの結論に達し、清掃用具を購入し、各被災地学校に配布しました。なお、配布の際には、両協会の気持ちをお伝えし配らせていただきました。

4. その他

- (1) 全国協会役員及び全国ビルメンテナンス政治連盟、ビルメンヒューマンフェアの募金など寄付があり、寄付された金額 300 万円についても上記 3 と同様に、清掃用具を購入して、各被災地学校に配布いたしました。
- (2) ビルメンヒューマンフェア展示後、各出展メーカより清掃資機材の提供があり、各被災地学校に配布しました。

【学校・団体への支援概要】

1. 支援した教育機関の数と県

第 1 次支援：宮城県 4 0 カ所、岩手県 5 カ所、福島県 9 カ所

第 2 次支援：宮城県 2 カ所、岩手県 3 7 カ所、福島県 1 カ所、茨城県 2 3 6 カ所

第 3 次支援：宮城県 3 カ所、岩手県 3 カ所

総支援数：宮城県 4 5 カ所、岩手県 4 5 カ所、福島県 1 0 カ所、茨城県 2 3 6 カ所 総 3 3 6 カ所

2. 現地訪問での受け渡し

平成 23 年 6 月 4 日 宮城教育大学にて宮城県内被災学校・教育委員会 4 団体

平成 23 年 7 月 14 日 宮城県気仙沼市教育委員会

平成 23 年 10 月 18 日 岩手県宮古市教育委員会及び同県釜石市教育委員会

平成 23 年 12 月 13 日 茨城県潮来市教育委員会

平成 24 年 8 月 7 日 宮城県亶理郡山元町教育委員会



平成 24 年 8 月 7 日 宮城県亶理郡山元町教育委員会へ赴き、5 回目となる最後の現地受け渡しを、全国協会役員及び宮城県協会・福井県協会・愛知協会のボランティア参加の皆さまとともに、手渡して参りました。

教育委員会の皆さまも大変喜んでおり、町内の各保育園・小学校・中学校に配布する予定であります。以下の写真は、当日、山元町内を撮影した写真になり、現地はまだまだ復興への道のりは長いと感じるとともに、被害は甚大である思う次第です。



【報告書】

第1次報告書及び第2次報告書を発行しており、両報告書にて、第1次支援、2次支援の詳細を報告しております。

【第3次支援の概要】

1. 支援団体と支援内容

(1) 宮城県 平成24年6月18日

山元町立山下第一小学校より要請、同校提供

高圧洗浄機1台

(2) 宮城県 平成24年7月6日

公益社団法人 Civic Force（災害支援団体）より要請、同団体提供

キッチン スポンジ2セット、雑巾20枚、雑巾（小）厚手2束、ポリバケツ×2個、手指消毒クリーナー2ケース、ゴミ袋20束、掃除機1台、ウェットシート5個

(3) 岩手県 平成24年7月19日

社団法人岩手県ビルメンテナンス協会より要請、宮古市教育委員会提供

自在箒（小）100本、モップ（糸付）100本、たわし5ケース、雑巾（小）厚手30束、ポリバケツ100個、手指消毒6ケース、手指消毒クリーナー15ケース、万能クリーナー5ケース、スーパークリーナー1ケース、エンジン洗浄機1台、三つ手チリトリ6個、文化チリトリ4個、三つ手チリトリ10ケース、ハイグリップブーツ1ケース

(4) 岩手県 平成24年7月6日

社団法人岩手県ビルメンテナンス協会より要請、大船渡市教育委員会提供

自在箒（小）100本、モップ（糸付）100本、たわし5ケース、雑巾（小）厚手30束、ポリバケツ100個、パワークリーナー4.5L10本、窓ガラス専用シート5ケース、手指消毒クリーナー23ケース、万能クリーナー5ケース、床クリーナー2ケース、エンジン洗浄機1台、三つ手チリトリ6個、文化チリトリ4個、三つ手チリトリ10ケース、ルームフィット（ドライ）2ケース

(5) 岩手県 平成24年7月13日

社団法人岩手県ビルメンテナンス協会より要請、陸前高田市教育委員会提供

自在箒（小）100本、モップ（糸付）100本、たわし5ケース、雑巾（小）厚手30束、ポリバケツ100個、万能強力クリーナー4.5L4ケース、手指消毒クリーナー20ケース、万能クリーナー5ケース、手

指消毒 3 ケース、マルチクリーナー1 ケース、エンジン洗淨機 1 台、三つ手チリトリ 6 個、文化チリトリ 3 個、三つ手チリトリ 10 ケース、ルームフィット（ウエット）2 ケース

(6) 宮城県 平成 24 年 8 月 7 日

山元町教育委員会より要請、同団体提供（現地にて受け渡しを行いました）

テーロンホーキ 3 本、自在ホーキ 33 本、庭ホーキ 5 本、座敷ホーキ 21 本、水切りモップ 8 本、ワンタッチモップ糸付 38 本、モップ柄 70 本、モップ替え糸 28 本、水切り 4 本、モップ絞り器 16 台、ライトモップ 20 本、ライトダスター(替え) 22 ケース、フローモップ 1 本、モップホルダー8 個、そうじグローブ 5 個、マイクロファイバークロス 18 枚、デッキブラシ 22 本、トイレブラシ 9 本、マルチブラシ 9 本、ワンタッチブラシ 4 本、ハウスポール 12 本、キッチンスポンジ 4 セット、雑巾 60 枚、ポリバケツ 8 個、クリーニングバケツ 68 ケース、プラスチック手袋 3 ケース、マスク 50 枚入り 401 ケース、マスク 25 枚入り 201 ケース、その他バラマスク 46 個、酸性トイレクリーナー15 ケース、中性トイレクリーナー18 ケース、石鹼水 4 缶、ワックス 1 缶、ガラスクリーナー2 ケース、手洗い消毒器 1 台、手指消毒クリーナー20 ケース、手指消毒用ジェル 11 ケース、石鹼 18 セット、サンポール 4 本、シールはがし 2 ケース、カビ取りクリーナー3 ケース、ブリーチ 2 ケース、ブリーチ（5K）1 ケース、バスクリーナー2 ケース、掃除機 1 台、高圧洗淨機 2 台、ポリッシャー1 台、カーペットバキューム 1 台、バキュームクリーナー5 台、ポリッシャー（パット替え）5 個、鉄道チリトリ 4 個、ダストパンチリトリ 30 個、チリトリ・ホーキセット 5 セット、エコBMチリトリ 4 個、芳香剤 1 ケース、ホースリールセット 1 台、クイックルワイパー14 個、ワイパーシート(替え) 72 個、はたき 15 本

【御礼】

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災は、未曾有の被害をもたらし、多くの方々がお亡くなりました。復興は現在の状況を見てもまだまだ長い道のりであります。

私たち全国協会はこの 1 年半の間、災害対策本部を立ち上げ、災害積立金の取り崩しと全国の会員に支援金、義援金の呼びかけを行いました。被災した東北 3 県(岩手、宮城、福島)と茨城協会及び同協会所属の正会員、そして赤十字に支援金、義援金の提供を行いました。その総額は 7 千万円を超え、また、同協会所属の正会員に対して会費の 1 年間の免除を行いました。

そのような中、全国協会は、社会に対して何をすべきかを検討した結果、この地震・津波で多くの被害を受け、また、住民の避難所となり、生活物資とは別に、生活をする上で、衛生さを保つことに困窮している被災地の学校に清掃用具を送る支援を立ち上げました。この呼びかけに、数多くの会員・団体から膨大な数の用具が寄せられ、多くの教育機関・団体に清掃用具を贈ることができ、感謝の気持ちや活用した写真、感謝状などが協会に届いております。

震災復興支援「被災学校に清掃用具を！」において会員の皆さまより支援いただいた清掃用具は、すべて被災地の教育機関に配布し、活用していただきました。

会員の皆さまには、震災による経営的苦難も推察される中、これまで、様々な支援をいただきましたことにあらためて御礼と感謝を申し上げます。この度は、ありがとうございました。

平成 24 年 9 月 27 日